

令和３年度中高連携英語力向上推進事業 「岩手県 Kenji Cup 高校生英語ディベート大会」実施要項

令和３年８月６日
岩手県教育委員会事務局学校教育室

1 趣旨

新学習指導要領における三つの資質・能力（「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」）の更なる育成を目指し、外国語における複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して、生徒の英語発信力の向上に資する。

2 主催

岩手県教育委員会

3 共催

岩手県高等学校教育研究会英語部会

4 期日

令和３年１１月３日（水・祝） ９：００～１６：３０（予定）

5 会場

岩手県立不来方高等学校

〒028-3615 岩手県紫波郡矢巾町南矢幅第９地割１番地１号

電話（代表）：019-697-8297 FAX：019-697-8693

6 参加条件（例年通りとする）

- （１）岩手県内の高校生を対象とする。ただし、英語のネイティブスピーカーを除く。
- （２）次のア～ウの海外生活経験者等の条件に該当する者は１チーム２名までとし、各試合に出場できるのは１名までとする。（試合ごとの変更は可能）
 - ア 英語を第１言語とする国で１２ヶ月以上滞在経験のある生徒（就学前の滞在は不問）
 - イ 英語を第２言語とする国の出身である生徒（就学前の滞在は不問）
 - ウ 家庭で常用的に英語を使用している生徒

※ 全国大会においては試合ごとの出場制限は設けず、条件該当者も各試合最大２名とも出場可能であること。
- （３）出場校の英語教員が引率者となること。ただし、外国語指導助手等は引率者を兼ねることはできない。

教員採用試験で教諭採用となった外国籍の講師は引率者となることができる。（岩手条件）

7 チーム構成

- （１）１校から参加できるのは２チームまでとする。
- （２）１チームの登録選手は４名から６名とし、各試合のチェアパーソン（司会）は、原則として肯定側チームの生徒（登録選手である必要はない）が担当する。

(3) 各試合への出場選手は4名とし、試合ごとの選手の入れ替えは可能とする。

8 引率

- (1) 引率教員(日本人英語教員)は1チームにつき1名とし、当日は試合のジャッジを担当することを原則とする。
- (2) 参加校に所属する外国語指導助手等は、試合のジャッジを担当するものとする。

9 論題(全国大会における論題に準ずる)

Resolved: That the Japanese Government should relocate the capital functions out of Tokyo.

日本政府は、首都機能を東京の外に移転すべきである。是か非か。

10 日程詳細

参加チーム数が確定した後、組合せとともに参加校に後日通知する。

11 競技規則

基本的には全国高校生英語ディベート大会に準じるが、新型コロナウイルス感染症に関わる状況、参加校数等を考慮し、変更もあり得ることから、詳細については参加校に後日通知する。

12 大会申込方法

(1) 県立高等学校の場合

Desknet'sNEO「全県フォルダ」の「03_県教委提出【保存期限1年】」>「C2_学校教育室_学力向上担当」>「【R031015 期限】Kenji Cup 参加申込」に参加申込書(様式1)を 10月15日(金)までに提出 すること。

(2) 盛岡市立高等学校、私立高等学校の場合

下記担当者宛てメールにて参加申込書(様式2)を 10月15日(金)までに提出 すること。

13 メンバー変更

- (1) 組合せ抽選会(ディベート運営委員会10月21日(木)14:00~16:00 予定)以降のメンバー変更は基本的に禁止。
- (2) 無断でメンバー変更があった場合は、基本的に失格とする。複数チームが出場している学校のチーム間の移動があった場合も同様。
- (3) 当日の病欠等、メンバー変更をしなければならない、やむを得ない事情がある場合は、高等学校教育研究会英語部会のディベート担当(主任1名、副主任2名)と主催者(教育委員会担当者)で協議し、変更の可否を判断するものとする。

14 宿泊・昼食

- (1) 宿泊を希望する学校は、各校で宿泊予約をすること。
- (2) 引率教員の昼食は、「3つの密」を避けるための、基本的な感染防止策の徹底を図った上で生徒と一緒に 試合会場等 で取ること。

15 上位大会への出場権

参加校数が 11 校未満 2 校以上の場合は優勝校 1 校、参加校数が 11 校以上の場合は優勝校 1 校と準優勝校が県代表として本年 12 月 18 日（土）～19 日（日）に開催される「第 16 回全国高校生英語ディベート大会 “Online”」への出場権が与えられる（オンラインによる全国大会は昨年度から実施されていること）。全国大会への選抜基準は一般社団法人全国高校英語ディベート連盟の規定によるものであり、今後変更の可能性もあること。

なお、今後の新型コロナウイルス感染症に関わる状況によって、上位大会の中止、内容変更等がある場合は、別途通知すること。

16 その他

- （1）参加者の人数に対し、広い会場を確保し換気を十分行うなど「3つの密」を避けるための、基本的な感染防止策の徹底を図った上で実施するものであること。
- （2）今後の新型コロナウイルス感染症に関わる状況によっては、本大会のオンラインによる大会への変更、内容変更、中止等もあり得ること。その場合、別途通知すること。
- （3）本大会は、本県出身の詩人宮沢賢治が花巻農学校（現 花巻農業高等学校）での教師時代、既にディベートを授業に取り入れていたことにちなんで、Kenji Cup と命名して開催するものである。

17 令和3年度中高連携英語力向上推進事業「英語発信力育成のための英語ディベート活用研修会」競技ディベート研修の参加について

- （1）期日
令和3年8月26日（木） 13:00～16:30（第2部：競技ディベート研修）
- （2）会場
岩手県立生涯学習推進センター
〒025-0301 岩手県花巻市北湯口第2地割82番13
電話（代表）：0198-27-4555 FAX：0198-27-4564
- （3）参加について
令和3年度岩手県 Kenji Cup 高校生英語ディベート大会に参加する予定の高校英語担当教員及び外国語指導助手等、並びに令和3年度 Kenji Cup 大会運営委員の参加は悉皆とする。
なお、申込み等については、「英語発信力育成のための英語ディベート活用研修会」実施要項等を参照のこと。

担 当

学力向上担当

主任指導主事 松本 諭

TEL：019-629-6162 FAX：019-629-6144

Email：satoshi-matsumoto@pref.iwate.jp